

令和4年度岩倉市当初予算案について

1 全体の特徴

本市は、昨年12月1日に市制施行50周年という大きな節目を迎え、令和4年度は、次の50年に向けての始まりの年となります。将来、本市を担っていく次世代につなげていけるよう、令和3年度から始まった第5次総合計画の5つの基本目標と私の2期目のマニフェストで掲げた「住むなら岩倉！子育て・健幸・安心なまち」を実現するための政策を着実に進めるため、各種事業に取り組んでいきます。

令和4年度においては、引き続き、3回目の新型コロナウイルスワクチン接種を実施するとともに、5歳から11歳までの子どもの接種体制を整えてきます。また、母子の健康づくりにおいては、安心して子育てができるよう多胎児家庭サポート事業を開始します。子育て・教育環境では、子ども医療費助成を令和4年4月診療分から、入院・通院ともに支給対象年齢を18歳到達年度まで拡大します。また、令和6年度に曾野小学校の敷地内に放課後児童クラブ施設を開設するための実施設計や令和7年度までに五条川小学校区内に北部と仙奈保育園、あゆみの家を統合した施設を整備するための基本構想を策定します。都市基盤整備では、岩倉西春線道路改良事業、桜通線街路改良事業、石仏公園整備事業を継続して実施していくとともに、マニフェストに掲げた名神高速道路スマートインターチェンジ設置検討事業、(仮称)にぎわい広場整備基本構想策定事業を新たに実施します。防災・浸水対策では、令和4年度から2年間で避難所看板設置等事業や大矢公園雨水調整池設置事業を実施するとともに、浸水ハザードマップを見直し、全戸に配布します。

また、「持続性の高い魅力ある地域づくり」と「地球温暖化防止対策」に重点的に取り組んでいきます。

持続可能なまちづくりでは、地縁的な意識の希薄化、住民ニーズの多様化等が進む中、市民一人一人に地域の持続可能性と活性化について考えていただくきっかけとなるよう、新たに地域力活性化支援事業を実施します。令和4年度から2年間で全ての小学校区でワークショップを開催し、地域の課題や行政に対する地域のニーズを把握し、各種施策に反映させていきます。

地球温暖化対策としては、第2次環境基本計画を策定するとともに、温室効果ガスの削減に向け、住宅用地球温暖化対策設備を備えた住宅の普及を促進するため、家庭用エネルギー管理システム等の導入に対して、引き続き補助を行います。

その他の主な事業としては、上水道基幹管路耐震化事業、五条川右岸公共下水道建設事業等の都市基盤整備や総合体育文化センター外壁等改修事業、最終年度となる岩倉北小学校屋内運動場等複合施設建設事業等にも多くの予算を配分しています。

一般会計と4つの特別会計、2つの企業会計を含めた予算総額では、前年比7.3%増の合計285億866万円としています。

2 一般会計

令和4年度一般会計予算額は164億6,000万円で、令和3年度当初予算156億9,000万円に対し、7億7,000万円、4.9%増と過去最大となります。

【歳出】 目的別予算で増減の多い科目

△減額の多い科目 (千円、%)

款	令和4年度	比較	前年比	減の要因
11 公債費	1,182,917	△ 23,820	△ 2.0	借入事業数約150種類のうち、令和3年度末で償還完了するもの(15事業)と令和4年度から元金の償還が始まるもの(11事業)との差異による減。

款	令和4年度	比較	前年比	減の要因
6 商工費	351,392	△ 23,386	△ 6.2	企業立地推進事業において、残土の埋戻しが完了しことによる埋蔵文化財発掘調査残土埋戻負担金や工事完了による調整池造成工事負担金の皆減。
7 土木費	1,357,241	△ 20,174	△ 1.5	名神高速道路スマートインターチェンジ設置検討事業や(仮称)にぎわい広場整備基本構想策定事業では皆増となるが、名鉄石仏駅等整備事業の完了による減。

○増額の多い科目

款	令和4年度	比較	前年比	増の要因
3 民生費	7,430,232	337,204	4.8	医療・介護の給付費や保育所の運営委託料、子ども医療費の対象年齢拡大による増、保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金の皆増。
9 教育費	1,802,273	314,403	21.1	岩倉北小学校屋内運動場等複合施設建設事業及び学校給食センターの廃水処理施設、厨房機器等の修繕費の増、総合体育文化センター外壁等改修事業の皆増。
4 衛生費	1,659,906	96,180	6.2	新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種に対応する経費は減額となるが、子宮頸がんワクチン接種の個別勧奨の再開等による予防接種委託料の増。

【歳入】 市 税 68億7,590万円（前年比3億2,130万円増、4.9%増）

（内訳） 個人市民税 28億7,220万円（前年比2億7,320万円増、10.5%増）
 法人市民税 2億7,060万円（前年比4,210万円増、18.4%増）
 固定資産税 28億3,570万円（前年比50万円増、0.02%増）
 軽自動車・たばこ・都市計画税 8億9,740万円（前年比550万円増、0.6%増）

【主な基金残高】

財政調整基金 12億5,000万円（令和3年度末）→11億円（令和4年度末）
 減債基金 7億円（令和3年度末）→2億円（令和4年度末）
 公共施設整備基金 8億円（令和3年度末）→6億5,000万円（令和4年度末）

【市債残高】

114億9,500万円（令和3年度末）→109億4,400万円（令和4年度末）

3 特別会計等

- ・ 令和4年度岩倉市当初予算の概要 4～35ページ